

SCSI Cable Tester

あなたのSystemではSCSIデータ転送時にエラーがありませんか？

ケーブルの品質が悪いために転送時にエラーが発生することがあります。トラフィックの量が少ない時は発生しにくく、負荷がかかってくるとエラーが発生する場合など。

弊社でテストした限りでもかなり品質に問題があるものがあります。安く作るために未熟な作業員を動員した結果、正しく配線されていないものや規格通りでない、コストセーブで低質の素材を使用するなど。しかし、これらは外見では分かりませんし、使用環境によっては希にしか発生しないトラブルのため、なにが悪いのか判断出来ない場合があります。

この場合、多くの方は 何が悪いのか判断出来ず、**相性が悪い** と言って次々と部品を交換して片付けてしまいがちですが、これでは解決にならずトラブルを他に分散してしまいます。[コンピュータの世界に相性などありません](#)。それはリアクタンスの規定値外や何らかの故障、不良あるいはbugです。

弊社ではテスト機器を使用してケーブルの検査を行いますので、不良を素早く見つけてシステム全体の故障原因の究明など、不良部分の特定を厳密に行うことができます。

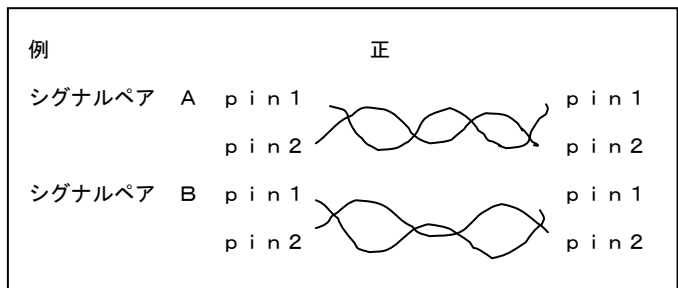
SCSI・Roll/Flat ケーブルの検査をご希望のお客さまへ

弊社では1顧客あたり20本までケーブルの検査を無料で行っております。ご希望のお客様は下記までお送り下さい。検査結果を付けてお返しいたしますが、返却の送料と保険料はお客様がご負担下さい。

Flat 内部ケーブルは使用されているデータ転送速度が、ウルトラ、ウルトラ2、U160、U320などをご記入下さい。ケーブルは正常でも、転送速度の仕様に合っていないケーブルをご使用されてエラーが発生している場合もあります。

検査方法・内容

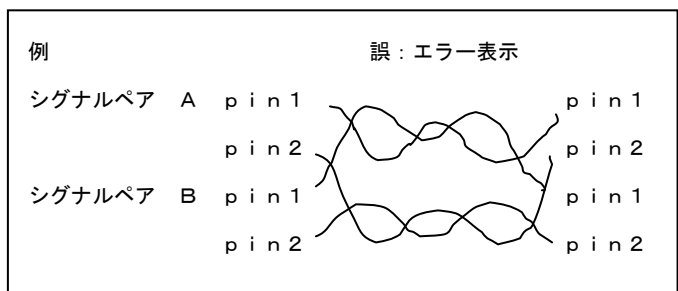
1. ケーブルの結線が両端のコネクタピン間で、
 - ①ピンとピンの接続は正しいか？
 - ②オープンのピンがないか？
 - ③ワイヤとワイヤのショートがないか？
 - ④ワイヤとシールド間でショートがないか？



2. ケーブルがSCSI仕様にマッチしているか？

Twisted Pair ケーブルとシールドの接続が正しいかチェックします。

ケーブルのコネクタの片方のみをテストに接続し、Rollケーブルで、容量リアクタンスがSCSIの規格外であればエラーと表示します。



3. 検査可能なケーブル

Centronics C50, HD50, HD68(Flat50, 68)

詳しくは次ページのCable Tester 検査方法をご参照ください。

お問い合わせ先: 株式会社ワークマンシップ / WORKMANSHIP Co., Ltd. <http://www.workmanship.com>

本社営業 sales@workmanship.com 及び 広島メンテナンス・サービス・センタ hirmisc@workmanship.com

〒731-5133 広島市佐伯区旭園 3-33 清水ビル3F TEL(082)924-4044 / FAX(082)924-4144

東京メンテナンス・サービス・センタ tokmsc@workmanship.com

〒101-0032 東京都千代田区岩本町 3-2-1 共同ビル(新岩本町)3F TEL(03)5687-5910 / FAX(03)5687-5965

Cable Tester検査方法

このST123 SCSIケーブルテスターは、ケーブルがSCSIの仕様に準拠しているかをテストし、良否の判定を行います。

例えば、ツイステッドペアのシグナルとグラウンドワイヤが正しくペアになっているかを調べます。ペアが誤っていたり、ワイヤの接続が不完全ですとSCSIエラーや不完全な動作あるいはSCSIハンガアップなどを引き起こすことになり、思わぬコスト負担となります。

1本のケーブルに対してのテスト順序は、

1. Continuityテスト
2. Integrityテスト
3. ケーブルの良否判定

Error がない
場合の表示



Continuityテスト

以下のテストを焼く10秒間実施

- ◇ ケーブルのピンとピンの接続がOKかテスト
- ◇ ケーブルのピンがオープンかチェック
- ◇ ワイヤとシールド間でショートがないかチェック

このテストで、どのピンが不良かそのピン番号が表示されます。複数あれば総てのピン番号が表示されます。

Integrityテスト

以下のテストをツイステッドペアに対し、約10秒間行います。

- ◇ 各シグナルペアのリアクタンスを計測します。
 - ◇ この容量リアクタンスの値が規定値内かどうかでペアの良否を自動判定いたします。
- もし、どれかのペアで規定値外であったら、このテストはエラーとなります。

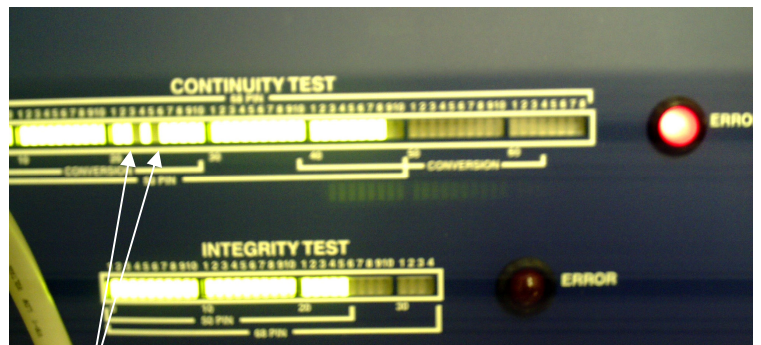
テスト可能なケーブルは

最大ピン数が68で最長200フィート(60m)まで

- ◇ 50ピンセントロニクス(C50)ーC50
- ◇ 50ピン高密度(HD50)ーHD50
- ◇ 68ピン高密度(HD68)ーHD68
- ◇ C50ーHD50
- ◇ C50ーHD68
- ◇ HD50ーHD68

Continuityのみのテスト

- Flat 50ピンーFlat 50
- Flat 68ピンーFlat 68



Error があった場合の表示(LEDの消灯でどのPINが断線か判断できます)

お問い合わせ先: 株式会社ワークマンシップ / WORKMANSHIP Co.,Ltd. <http://www.workmanship.com>

本社営業 sales@workmanship.com 及び 広島メンテナンス・サービス・センタ hirmisc@workmanship.com

〒731-5133 広島市佐伯区旭園 3-33 清水ビル3F TEL(082)924-4044 / FAX(082)924-4144

東京メンテナンス・サービス・センタ tokmsc@workmanship.com

〒101-0032 東京都千代田区岩本町 3-2-1 共同ビル(新岩本町)3F TEL(03)5687-5910 / FAX(03)5687-5965